

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 27-26
補助事業名 平成27年度 フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

TC131の全てのSC, WG, TC118/SC3及びSC4のWGに専門家委員を派遣し、国際規格開発の初期段階から、日本の提案、意見を反[文書の引用文や注目すべき箇所の要約を入力してください。テキストボックスは文書のどの位置にも配置できます。抜粋用テキストボックスの書式を変更するには、[描画ツール] タブを使用します。]

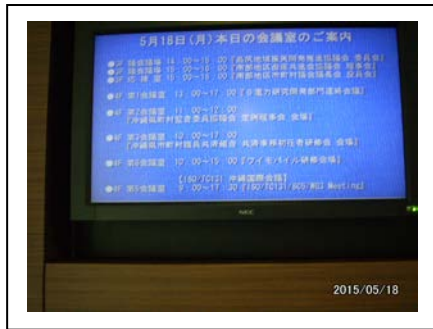
映させ、日本を利する国際規格策定を目指す。また、国内では、各国内分科会において、規格内容の精査、規格化の進め方などを審議し、標準化活動を推進する。

(2) 実施内容

平成27年度は、

(a) ISO/TC131沖縄会議を開催し、ISO/TC118/SC3ザンクト・アウグスティン国際会議、ISO/TC131フランクフルト国際会議及びISO/TC131ミラノ国際会議に委員を派遣し日本の意見の反映に努めた。

また、発行されたISO審議文書88件についてすべて回答し、日本の意見の反映に努めた。



ISO/TC131沖縄国際会議 会議案内画面



ISO/TC131/SC5/WG3沖縄会議 (2015/05/18)



ISO/TC131/SC5/WG3沖縄会議 (2015/05/18)



ISO/TC131/SC4 ミラノ会議 (2015/10/26)



技術標準化委員会（2015/06/17）



ISO/TC131/SC7シール分科会（2015/04/10）

(b) フルードパワーに係る国際規格のJIS化の推進として、国際規格に整合したISO 16030のJIS化、JIS B 8395 (ISO 6195) 及びJIS B 8356-1 (ISO 11170) の改正案を作成した。

(c) 日本発の国際規格化活動としてISO 10767-1が発行された。



日本発のISO規格

2 予想される事業実施効果

フルードパワーは、日本、アメリカ、ヨーロッパの3極が世界をリードしている技術分野である。従ってTC131内における日本の存在感は高いが、これもTC131創立時から継続して活動してきた賜物である。27年度には、TC131/SC8の議長を横浜国立大学の眞田一志教授が引き受けるなどISOに対する貢献度が上がってきており日本の意見が反映しやすくなって来ている。

3 補助事業に係る成果物

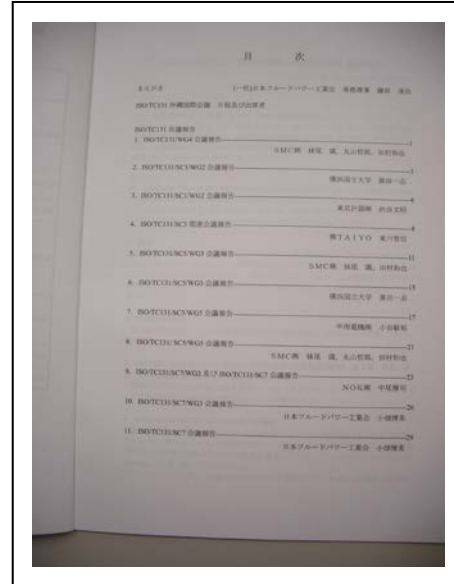
(1) 補助事業により作成したもの

・ ISO/TC131沖縄国際会議報告書 (URL)

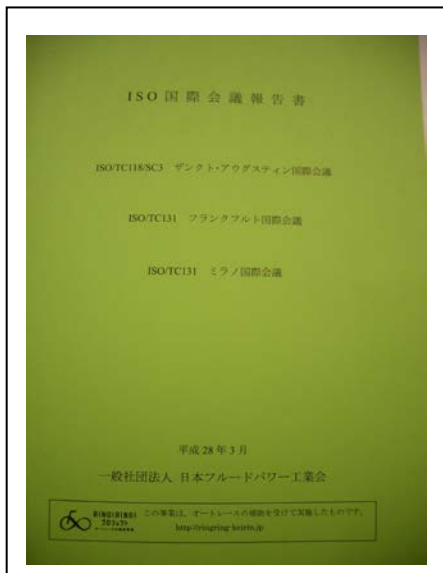
・ ISO/TC131国際会議報告書 (URL)



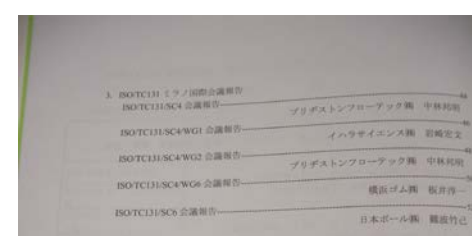
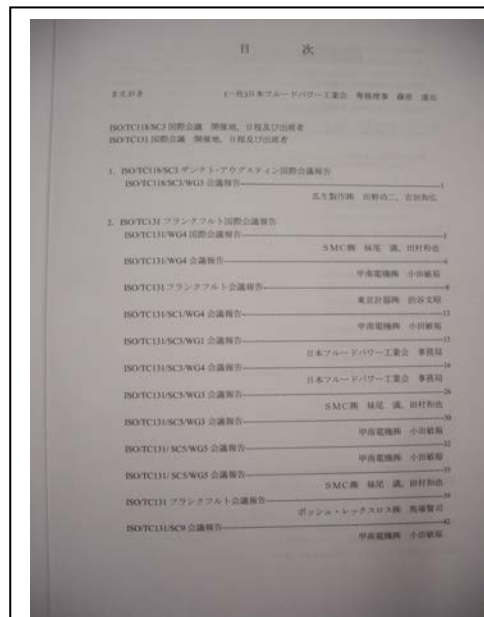
ISO/TC131沖縄国際会議報告書



ISO/TC131沖縄国際会議報告書 目次



ISO/TC131国際会議報告書



ISO/TC131国際会議報告書 目次

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人日本フルードパワー工業会(ニホンフルードパワーコウギョウカイ)

住 所 : 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8

代 表 者 : 会長 梶本 一典 (カジモト カズノリ)

担当部署 : 第二技術部 (ダイニギジュツブ)

担当者名 : 部長 千葉 誠 (チバ マコト)

電話番号 : 03-3433-5394

F A X : 03-3434-3354

E-mail : chiba-mak@jfpa.biz

U R L : <http://www.jfpa.biz/>